

心豊かで いきいきと暮らす ふるさとづくり



広報たけとみちよう

日本最南端の町の広報誌



寅

～由布島の日の出～

謹んで新春のお慶びを
申し上げます

賀正



2021年 11月末現在

総人口：4,310人（-24）
男 性：2,237人（-14）
女 性：2,073人（-10）
世帯数：2,504世帯（-28）

2022年 1月号 No.469

・町長年頭のごあいさつ	2
・島時間・島自慢～バガスマのオンリーワン	3
・ゆんたく会報	4
・栄養マメ知識	5
・学校だより	6
・地域おこし協力隊活動報告	7
・竹富町立幼稚園・預かり保育園児募集	8
・令和4年度 保育所入所案内	9
・税務課からのお知らせ	10
・特定検診を受けていない方へ	11
・社会福祉協議会からのお知らせ	12
・八重山警察署からのお知らせ	

令和4年 竹富町長 年頭のあいさつ

明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、新たな夢と希望に満ちた、輝かしい新年を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申しあげます。



さて、新型コロナウイルスの感染が確認されて以来、私たちの生活は大きく様変わりいたしました。本町においても様々な行事やイベント、会合等の自粛、中止を余儀なくされるなど一昨年に続き厳しい一年でありました。そのような中でも町民皆様をはじめ、関係各位の町政運営に対するご理解とご協力をいただきましたことに、心より感謝を申し上げる次第であります。

昨年は、閉塞感漂う中において、7月に西表島が世界自然遺産として登録され国内外より数多くの祝福のメッセージが寄せられました。今後も自然資源の保全と活用を両立させる持続可能な観光地づくりに向けた様々な施策を展開してまいります。

いよいよ令和4年度、待望の石垣新庁舎が開庁いたします。

新庁舎は、簡易宿泊施設等を併設した5階建ての複合施設として、安心して便利に利用することができるユニバーサルデザインとなっております。これまで分散していた産業振興課や教育委員会、議会なども集約されるほか、町民が多く利用する窓口では、申請手続等の負担軽減が図られるよう「総合窓口」を導入し、行政サービスの向上とともに、町民の皆様に親しまれる庁舎となるものと確信しております。

一方、大原庁舎をはじめ、世界遺産センター、博物館等の整備につきましては、更なるスピード感を持って取り組んでまいります。

今後も島々における均衡ある発展のため諸施策を展開し、産業の振興、超高齢社会への対応、教育施策の充実、子育て世帯への支援等「全ての町民が安全・安心で快適に暮らせる町づくり」「心豊かでいきいきと暮らすふるさとづくり」の実現に向け、邁進する所存でございます。

また、新型コロナ感染症対策については、これまで同様、ワクチンの接種など万全な体制で対応できるよう、国及び県の関係機関と連携を図りながら、職員一丸となって対策を講じてまいります。

結びに、町民皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申しあげますと共に、町政運営に一層のお力添えを賜りますようお願い申しあげ、年頭のごあいさつといたします。

令和4年元旦 竹富町長 西大舛 高旬



島時間、島自慢 ~バガスマのオンライン~



ゆいまーるワークショップ in 黒島

黒島学園チーム

みんなで行こう！住民健診
～教えて！松波先生～



延期となっていた黒島住民健診が11月に行われました。

住民健診を目前に控え、黒島の健康学習グループである“黒島学園”が、動き出しました。

前回は、4月にいろいろな情報が錯綜していた新型コロナウイルスやワクチン接種を題材として、「**新型コロナワクチン学習会**」を開催し、黒島診療所の松波久雄先生が黒島の地域住民にわかりやすく説明していただきました。

今回は、松波先生から、当日集まった18名の島民の皆さんへ**「健診を受けることの大切さ」**をお話ししてくださいました。



内 容

- ①メタボリックシンドロームについて
- ②質疑応答
- ③栄養士から「ぱいぬ島健康プラン21」について

①「メタボって何？」「どうしたら改善・予防できる？」

腹囲の異常(男性85cm以上、女性90cm以上)に加えて、高血圧・高血糖・脂質異常の2項目以上該当することで、「メタボ」の該当者となります。

これによって、動脈硬化が進み心筋梗塞や脳梗塞を引き起こす危険性が高まります。

健診結果の数値で「該当しなかったから大丈夫！」ではなく、日頃からバランスのよい食事を摂り、適度な運動を心がけるなどをすることで、改善あるいは防ぐことができます。

②質疑応答

- ・尿酸値に係る食べ物について
- ・尿酸値を下げるときの水分の取り方について
- ・内臓脂肪と皮下脂肪の違いについてなどの質問がありました。

次号で説明するので要チェック!!

③「ぱいぬ島健康プラン21」健康増進計画を知っていますか？

「ぱいぬ島健康プラン21」とは、いくつになっても元気で島で過ごせるように住民主体の地域全体で取り組む健康づくりです！肥満解消・予防を中心とした健康づくりを竹富町では進めています。

(担当窓口：健康づくり課)



健診を受けて、自分の体を知ることはとても大切なことです。これからも健康で元気な日常を送れるように、日頃から食生活・適度な運動を心がけるようにしましょう！

20代～70代と幅広い年代の黒島住民が参加しました。

《参加された方の感想》※一部抜粋

- ・わかりやすい説明で楽しく参加させてもらった。
- ・なかなか話を聞く機会がなかったので、とても勉強になりました。住民健診の結果の表の見方なども知りたかった。
- ・メタボに気を付けた方が良いことが分かった。改めて生活習慣病は怖いと思った。
- ・本日の勉強会は有意義でした。定期的な開催を希望します。健康に対する意識が高まりました。



地域包括支援センターは、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援を行うための高齢者総合相談窓口です。認知症、介護、介護予防、医療、福祉なんでもご相談ください😊

竹富町福祉支援課 地域包括支援センター TEL 83-7415 (担当:西前津・田代・内海)



支え愛♥ゆんたく会報

2021年もコロナ蔓延予防のため、「今はやーぐまいが大事よね…」と、様々な活動自粛があったことだと思います。

でも、それでは、心と体の健康は保てません…！やーぐまいと、高齢者のフレイル(虚弱)も心配な状況でした。地域では、そんな状況を察知してか、マスクをして、消毒をして、体温を測って…、みんなで出来る限りの感染対策をしながら、地域活動を続けていました♪

ご近所で集まって、ゲートボールの練習をしたり、朝の散歩をしたり、いきいき百歳体操、地域のサロンなど、人それぞれの通いの場に出向く行動が、心と体の運動にもなります♪みんなと顔を合わせて話すことは、認知症予防でもあり、高齢者のうつ病予防でもあるのです😊ひとりひとりが地域をつなぐお宝です！

コロナに負けない地域活動！ みんなの通いの場～老人会～

前日まで雨だった天気も回復し、上原地区・祖納地区・干立地区・白浜地区・大原地区・小浜地区・竹富地区の皆さんが集まりました😊



80歳を迎えた
5名の方が受賞されました



～離島振興総合センター～



竹富地区的皆さん
おめでとうございます !!

気温も上がり暑い中ではありました。皆さん、真剣な表情や楽しそうな笑顔がとても印象的でした。優勝された竹富地区的皆さんおめでとうございます！また、あともう少し！と惜しかったチームも、楽しく競技をできたことが一番だと思っています。無事に競技ができ、お仲間たちと久々に会ってゆんたくを楽しんだ方もいらっしゃったことでしょう。皆さん、大変お疲れ様でした😊

次回の大会に向けて、これからも楽しみながら練習を続けてください。そして、練習の様子を見学しに行きたいと思っています♪

コロナに負けない地域活動！ みんなの通いの場～いきいき百歳体操～

いきいき百歳体操

各地区に運動指導士や理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの様々な専門職を派遣しています。11月は古見地区、干立地区、竹富地区、波照間地区、小浜地区、大富地区に派遣をしました♪

婦人会の方も一緒に体操に参加し「気持ちよかったです！」と好評でした。

体操後は「腰が痛いんだけどどんなことをしたらいい？」と質問タイムも盛り上がります！

地域の方は誰でも参加できるので、お誘い合って是非ご参加ください😊



各地区で11月から体力測定を実施中！体力測定の後にフレイル(虚弱)予防のお話をしています。なかには、「もうここに通い始めて5年にもなるよ」と話すおばあもいます♪

「体力測定なんてやりたくないよ～」と思う人もいるかと思いますが、歳を重ねるにつれて体力が落ち、体力測定の数値が下がることは当たり前のことです。

そこで大事なのは、自分のフレイル(虚弱)がどのくらいの程度かを知ってもらい、「こんなことに気を付けて生活しよう」「こんな対策ができる」ということにつなげることです。毎年行っている体力測定、今回も各地域でご参加ください♪



高血糖予防教室 『食の選択力をつけよう』

今回の栄養マメ知識は番外編として、11月、12月に行った高血糖予防教室の様子を紹介します。高血糖(血糖値が高い)状態を放置しておくと、糖尿病になり、さらに適切な治療ができていないと、目や腎臓、神経などに影響のなる合併症が起きます。そうならないためには、早めの治療が大切です。治療とは薬だけでなく、食事、運動も含まれます。

教室は、第1部「高血糖について」、第2部「食の選択力をつけよう」をテーマに開催しました。

第1部:高血糖について



糖尿病でない方でも
※HbA1c 5.6以上の方は
要注意！
食事と運動の改善で血糖値を
正常値(HbA1c 5.5以下)
にしましょう！

※HbA1cとは過去
1～2ヶ月間の
平均血糖値のこと

◎参加した皆さんの感想

- ・日頃の食生活を見直すことができた。
- ・自分でも工夫して健康管理をしていきたい。
- ・糖尿病の合併症の怖さを知った。



第2部:食生活改善推進員(ヘルスマイト)さんの協力で作ったお弁当を見ながら、食の選択力をつけました。



ごはんの量は一人一人の適正エネルギーから計算。各自測って盛りつけ、いつも食べてる量と比べることができました。

◎お弁当の中の食品を3つのグループに分けました◎
①骨や筋肉など身体をつくる(たんぱく質の多い食品)
肉、魚、大豆、卵
②身体の調子を整える(ビタミン、無機質の多い食品)
野菜、きのこ、海藻
③身体を動かすエネルギー源(炭水化物の多い食品)
ごはん、めん類、パン



◎高血糖を予防する食べ方◎
・朝、昼、夕の3食とる。
・よく噛んで食べる。
・先に野菜を5分以上かけて食べる。



新しい年が始まりました。皆様今年はどんな年にしたいですか？
毎月掲載させて頂いている栄養マメ知識もお陰様で2年目となりました。
いつも読んで下さってありがとうございます。
今年もどうぞよろしくお願ひ致します。 《健康づくり課 管理栄養士》

竹富町 学校だより

～こちらのコーナーでは、竹富町内の各学校の活動をお伝えしていきます。～

私たち大原中学校における海洋教育のねらいとして、「郷土の自然に親しみ、郷土を知り、郷土に誇りを持つ生徒の育成」を掲げ、3年サイクルで①仲間川筏下り、②西表島横断、③古見岳登山の三大行事を保護者や地域の方々の参加協力の下に取り組んでいます。今回も、西表島の自然や郷土について「自分たちで、調べ、考え、動く」とモットーに探求的な体験活動を展開しています。

今年度は一番過酷と思われる「西表島横断」を11月13日（土）に行いました。学校沿革史を紐解くと1982（昭和57）年11月22日に第1回目の西表島横断へ全校生徒・全職員が参加と記されていますので、今年で39年目の伝統ある行事であることが窺えます。

さて、本番当日は早朝5時30分に大原中学校へ集合し、点呼・体調確認の後、約1時間かけて西部の浦内川河口へ大型バスで移動し、次は浦内川観光船2艘で軍艦岩まで移動し、西表島横断をスタートしました。アップダウンの激しい山道や風光明媚な川辺を渡り、総距離13.2kmの横断道を踏破しました。生徒34名、保護者17名、関係者26名の総勢77名が無事にゴールを果たし、全員踏破を成し遂げました。

1班から7班までグループ単位で西表島の大自然の驚異に挑み、時には校歌を歌い勇気を振り絞り「励まし合い」約10時間のチャレンジは見事に大成功でした。生徒の皆さんはこの経験を「自信と誇り」に替え、どんなに困難な状況も乗り越えていく糧としてほしいです。サポートしてくださった保護者の皆様、そして関係者の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

大原中学校
**夢と希望を抱き
広大な自然に挑む西表島横断**



全体集合写真
(早朝、出発前の笑顔が溢れる)
R3.11.13



地域おこし協力隊活動報告

《鳩間島》エネルギー再利用システム開発

船越 義正／瀧田 翔太

みなさま、あけましておめでとうございます。鳩間島地域おこし協力隊です。年明け早々にクリスマスの話題もないだろう、と思いますが、実は編集、印刷の関係でこの原稿を書いているのは21年の11月末なのでお許しください。先日、協力隊の事務所でクリスマスツリーを鳩間島の子供たちと作りました。材料は毛糸と支柱と底板と押しピンとLEDライトとネジくぎです。要領を子供たちに伝えると、誰かれなく押しピンの係、毛糸を巻き付ける係、手分けして作業を楽しんでくれました。実は、このクリスマスツリーは金沢の兼六園の「雪廻い」を見ていて思いついたもので、熊本、鳥取、倉敷、長野などが災害にあったとき、避難所や仮設住宅の集会所でワークショップをしながら作ってきたものです。今年はみんなのところにもいかがでしょうか？まだまだ、11月か月も先の話しですみません。今年もよろしくお願ひいたします。



《庁舎勤務》移住定住係

久保田 舞

民間資金を活用した住居整備事業として、浦内地区で進めていた新しい住居が完成し、昨年11月末に完成お披露目会が開催されました。昨年度より調整をしてきた事業で、私も今年度より携わっています。地域の方と話をする中で、住居不足は簡単に解消できるものではないですが、少しずつ取り組めることからやることが大切だと改めて感じました。この事業は今後も続けたいと思いますし、移住定住を促進するためには何が必要で、今何をすべきか試行錯誤していきます。「地域にはこんなことが必要だと思う」という声をぜひお聞かせください。



《波照間島》波照間航空路線復活プロジェクト支援

田辺 咲穂

あけましておめでとうございます。

波照間島で地域おこし協力隊として活動をさせて頂いています、田辺咲穂です。波照間初の地域おこし協力隊という事でいいたいなにするのか？わからない方ばかりだと思います。

3月以降、波照間空港再稼働を予定していますが、それに伴い島を盛り上げようと島活性化事業の現地での橋渡しとして来ました。島の皆さんのがやりたい事業に精通する事業者、企業を紹介しサポート致します。

これをはじめたけどどうすればいいのだろう？そんな皆さんのが聞かせてください。

私自身は波照間島の宿や食事処、皆さんが作られる波照間産の物販情報、農業の紹介など、波照間の魅力がつまった情報集約サイトの運用を予定しています。

これから皆さんの声を沢山聞き、島を学び紡いでいけたらと思います。宜しくお願い致します。



地域おこし協力隊・集落支援員のFacebook始めました！

日常的な活動、地域の魅力、地域活性化事業等を発信します。ぜひご覧ください。

URL : <https://www.facebook.com/taketomi.chiikiokoshi>



令和4年度 竹富町立幼稚園・預かり保育園児募集

竹富町教育委員会

✿ 幼稚園の入園申込方法 (入園時1回のみ)

- 竹富町教育・保育給付認定申請書 兼 特定教育・保育施設等入園(所)申請書(新規)
- 誓約書
- 住民票抄本
- 幼稚園が提出を求める資料(家庭状況調査票等)



✿ 預かり保育利用申込方法 (毎年度申請です)

- 竹富町教育・保育給付認定申請書 兼
特定教育・保育施設等入園(所)申請書(新規・継続・変更)
- 認定に必要な書類(勤務証明書・自営業証明書等)
※詳しくは認定に必要な書類案内をご覧ください。

✿ 幼稚園・預かり保育料は「幼児教育・保育の無償化」により無償となりますが、預かりには(おやつ代等)徴収が発生します。

✿ 給食はありません。(昼食は弁当持参とします)
※必ず登園時お子さんに弁当を持たせてください。

✿ 対象児童

2年保育生(4歳児)：平成29年 4月2日～平成30年 4月1日
1年保育生(5歳児)：平成28年 4月2日～平成29年 4月1日

✿ 申込期間

令和4年 1月18日(火)～令和4年 2月4日(金)
申込受付は各幼稚園へ (※土日、祝日を除く午後2時～午後5時まで)

✿ 問い合わせ

竹富町教育委員会教育課	0980-87-6256
はてるま幼稚園	0980-85-8254
おおはら幼稚園	0980-85-5553
うえはら幼稚園	0980-85-6754





令和4年度 保育所入所案内



✿保育所への入所について

保育所は、保護者が仕事や病気などのため、家庭で児童を保育することができない場合に、保護者に代わって保育することを目的としています。

児童の保護者に「保育を必要とする事由」がある世帯が入所対象です。

なお、入所申込が多い場合等は、基準に基づき、優先度の高い児童から入所を決定します。
(※継続して入所希望の場合も申込みが必要です。)

★保育所入所対象児童：原則竹富町に住所がある満2歳から小学校就学前の児童

《4月入所申込み》

◆配布場所：各保育所・各出張所・竹富町役場 福祉支援課
(※竹富町ホームページにも掲載します。)

◆受付期間：**令和4年1月4日(火)～令和4年1月31日(月)** ※土日祝日を除く

◆受付時間：午前9時～午後5時

◆受付場所：各保育所・各出張所・竹富町役場 福祉支援課

✿町内保育所一覧

施設名	住 所	電話番号	入所対象年齢
竹富保育所	〒907-1101 竹富町字竹富326-1	85-2343	満2歳～5歳児
黒島保育所	〒907-1311 竹富町字黒島1138-1	85-4139	満2歳～5歳児
小浜保育所	〒907-1221 竹富町字小浜1923-1	85-3278	満2歳～5歳児
大富保育所	〒907-1433 竹富町字南風見仲29-41	85-5340	満2歳～3歳児
上原保育所	〒907-1541 竹富町字上原382	85-6440	満2歳～3歳児
西表保育所	〒907-1542 竹富町字西表650-1	85-6304	満2歳～5歳児
波照間保育所	〒907-1751 竹富町字波照間10	85-8314	満2歳～3歳児

✿お問い合わせ先

〒907-8503 沖縄県石垣市美崎町11番地1

竹富町役場 福祉支援課 子育て支援係（電話番号：0980-83-7415（直通））

税務課からのおしらせ

償却資産（固定資産税）の申告について

固定資産税は土地や家屋のほかに太陽光発電設備などの償却資産にも課税されます。事業用の資産を「償却資産」といい、所有者（法人・個人）は地方税法第383条の規定により、毎年1月1日現在竹富町内において所有している償却資産について、その種類、取得時期、取得価格、耐用年数等を竹富町長（税務課）に申告していただくことになっております。

「償却資産申告書（申告の手引）」につきましては、前年度に申告された所有者（eLTAX申告者除く）には税務課より郵送しています。また、資産に増減があった場合は申告書の提出が必要です。税務課窓口で配布のほか、竹富町ホームページからでもダウンロードできますので、期限内に提出していただきますようお願い申し上げます。なお、過年度の申告は随時受付けております。

提出期限：令和4年1月31日（月）まで

提出先：竹富町役場 税務課（各出張所に提出可）

お問合せ：竹富町役場税務課固定資産税係 TEL 0980-83-4861

～事業用施設や設備の新設又は増設などを行った皆様、又は今後ご予定の皆様へ～ 固定資産税課税免除(税制優遇制度)のご案内について

竹富町では、産業の振興及び雇用の拡大に寄与することを目的として「固定資産税の課税免除等の特例に関する条例」を定め、一定の要件を満たした場合に申請により課税免除措置の適用を行います。

それぞれの地域・地区制度で定められた要件を満たす施設や設備を新設又は増設した場合、固定資産税の課税免除を受けることができます。

制度の詳細については、公益財団法人沖縄県産業振興公社をご確認ください。
「沖縄特区・地域税制活用ワンストップ相談窓口」（TEL098-894-6377）
<https://www.zei-tokku.okinawa/>※竹富町ホームページからもご覧いただけます。

申請期限：令和4年1月31日（月）まで

※期限厳守（期限を過ぎると受付できません）

受付場所：竹富町役場 税務課（各出張所に提出も可）

※書類確認・現場確認等を経て、課税免除を決定します。

お問合せ：竹富町役場税務課固定資産税係 TEL 0980-83-4861

ご予約
お急ぎください

まだ特定健診を受けていない
40~74歳の竹富町国保加入の皆様へ

県内の医療機関にて **無料** で
特定健診を受けられます！

通院中の方も
受けましょう！



【お問い合わせ】竹富町役場 健康づくり課 国保係 82-7519

«特定健診の流れ»

Step 1

医療機関を選ぶ 右記参照

(県内の特定健診実施医療機関で受けられます)

Step 2

医療機関に予約する

直接、病院に予約をお願いします。

Step 3

特定健診を受ける

(血液検査、尿検査、身体測定、問診等)

Step 4

結果を確認

脂質異常症、糖尿病、肝臓病、腎臓病、
肥満症等のリスクが分かります

R3年度 特定健診の受けられる医療機関 (石垣市内)

石垣島徳洲会病院	83-5507
上原内科医院	88-7068
大浜診療所	87-5093
コーラルクリニック	87-5698
てるや内科胃腸科	88-1616
下地脳神経外科	88-7300
下地第2脳神経外科	88-5150
かりゆし病院	83-5600
小田内科医院	83-8001
博愛医院	82-3170
宮良内科胃腸科医院	82-4181
やいま中央クリニック	88-7711
よなは医院	83-4781
にいむら 内科胃腸科クリニック	83-7771

※町内診療所は特定健診実施医療機関ではありません。

がんじゅうタイムに西大舛町長が出演します。1月~2月に沖縄県内民放テレビ3局で放送！



生活習慣病のリスクは年齢と共に高まります。
自覚症状の出にくい生活習慣病を
一早く見つけられるのが特定健診です
元気な人も、通院しているという人も、
毎年、必ず特定健診を受けましょう。



竹富町社会福祉協議会からのお知らせ

生活費にお困りの方へ 特例貸付の受付期間が一部延長されました!!

コロナウイルス感染症の影響で生活にお困りの場合、沖縄県社会福祉協議会での審査・利用決定後、貸付を行います。ご相談の際は、事前にご連絡をお願いします。

【令和4年3月末まで延長】

- ・緊急小口資金（初回）
- ・総合支援資金（初回）

◎各貸付の詳しい内容につきましては、町社会福祉協議会へお電話でお問合せ頂くか、沖縄県社会福祉協議会のホームページをご確認ください。



※総合支援資金(再貸付申請)の受付は12月末をもって全て終了いたしました。

※竹富町社協では業務を円滑にするため、事前に社協より郵送する「生活福祉資金相談受付票」等の書類を提出するようお願いしています。

お問合せ先…竹富町社会福祉協議会 ☎84-3302 担当：仲盛、伊奈、普天間、佐方、田本、東迎

事件・事故緊急事態に 110番

沖縄県内での110番通報は、全ての沖縄県警察本部に繋がります。

110番通報の際は、あわてず、おちついで、
警察官の質問に答えてください。



①何がありましたか？

どうぼう、交通事故、
けんか口論など・・・

②場所を教えて下さい。

地番、目標の建物や
交差点名、電柱番号など

③いつごろですか？

何時ごろ、
何分くらい前など

④犯人の特徴は？

性別、服装、体格、
乗り物、逃走方向

⑤今の状況は？

ケガ人、被害の状況、
事件事故の様子など

⑥あなたの住所、
氏名は？

氏名、住所、連絡先など

八重山警察署

☎0980-82-0110

「110番通報」は**緊急通報**の専用電話です。

安心・安全な社会の実現のため、110番の正しい利用方法を理解していただきますよう、ご協力をお願いします。

緊急時以外は、**相談ダイヤル（#9110）**を利用してください。

